

空き家・空き農地を活用 した関係人口創出と移住 定住促進への取り組み

令和3年9月5日 第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会 第一分科会

リロカリコクリ株式会社 代表取締役 米津 岳



代表取締役



米津 岳 昭和56年1月21日生まれ

大阪・京都のベッドタウン的な滋賀県甲賀郡甲西町（現湖南市）新興住宅地にて生まれ育ち、高校卒業後18歳にて就職、20歳に上京。20代は様々なバイトを経験しながらミュージシャンとして活動していたが、30歳を機に高齢者福祉業務に従事。主に介護予防事業を担当し、35歳で老人福祉センター長に就任。日々の勤務状況に疑問を感じ一念発起し、妻と猫2匹とともに宮城県加美町へ移住を決意。2018年に加美町地域おこし協力隊としてアウトドア・観光振興を担当。3年間の活動後、地域課題解決を担える法人「リロカリコクリ株式会社」を設立。現在は猫3匹・山羊1頭と共に、クリエイティブな仕事と農業を実践しながら田舎暮らしを満喫している。



リロカリコクリ株式会社とは

ミッション	私たちは、 地域共創（Regional co-creation） を通して、安心して地域に定住できる 生活の地域回帰（Life Re-localization） の推進に取り組み、地域に住むひとり一人が地域の中で助け合いながら暮らすことができる 持続可能な社会の実現 に貢献していきます。
ビジョン	空き家の維持・管理、再生・利活用、移住定住促進、地域資源の発掘・生産・販売、田舎の魅力発信に取り組み、地方の空き家問題、地方への人口分散・人口減少問題の解決、都市部の人口一極集中化の解消を行うことで、地域課題解決の実現を目指していきます。
バリュー	移住者を含む地域に住むひとり一人の生活の充実、夢の実現を大切にします。

「Life Re-localization and Regional co-creation」略してリロカリコクリ、「生活の地域回帰と地域共創」という意味の造語。「田舎に暮し、田舎で創ろう」という思いを込めています。



事業内容（令和3年度予定）

1. 空き家対策関連事業

- ① 空き家の維持・管理
- ② 空き家物件の利活用相談、提案
- ③ 牛舎をリノベーションした循環型サテライトオフィスの開設**
- ④ 自宅を活用した民泊・グリーンツーリズム、インターンの受け入れ**
- ⑤ その他行政の連携

2. 地場産品開発

3. 農業



自宅周辺図



蔵



母屋



やぎ小屋



農地③



事務所



農地①

農地②

蔵

母屋

牛舎

倉庫

事務所

やぎ

農地③



農地②



農地①



牛舎



倉庫

1－③牛舎をリノベーションした循環型サテライトオフィスの開設

農家住宅に隣接している牛舎をリノベーションし田舎でのリモートワークやテレワークを目的とした循環型サテライトオフィスとして利活用する。

首都圏や都市部の企業を主なターゲットとし、非日常の空間で日常的な業務ができるよう整備されたオフィスを開設。快適に集中できる環境の中、効率的に業務を行える。また敷地内の農地を活用した農業体験や町内でのアクティビティ体験などを通じて地域に開けたサテライトオフィスを目指す。



2021年8月23日現在



2021年11月完成予定

循環型サテライトオフィス LOFFICE加美町「MOU-MOU」概要



Loffice加美町「Mou-Mou」

使われていなかった牛舎を基礎や間取りを活かしてリノベーションしオフィスとして利活用する。

- オフィススペース 2名個室×2部屋
牛の肥育部屋を活用したオフィス。
- テレワークスペース 2名個室×2部屋
簡易宿泊としてユニットバスとベッドを設置した個室。
- 多目的会議室 定員12名×1部屋
肥育部屋二つ分のスペースをつなげた部屋。
- その他
キッチンスペース、洗濯場等

農家住宅

家主不在に

牛舎

畜産をやめ未使用に

空き家

移住者受入

利活用検討

住居 & 農地活用

サテライト
オフィス

1－④自宅を活用した民泊・グリーンツーリズム、インターンの受け入れ

自宅及び空き家物件をリノベーションし、民泊又はゲストハウスとして受入できるように活用する。

初年度は弊社代表の自宅（元空き家）をリノベーションし、グリーンツーリズムやインターン生の宿泊先受け入れを行っている。敷地内の農地を活用した農業体験に加え、地域の田植え・稲刈り体験などにも積極的に参加することで、地域全体での取り組みにもつながっている。



最後に

私は**3**年間、地域おこし協力隊として加美町で生活をしてきました。多くの地域住民との交流、町での業務を行う中で、空き家再生を主とした事業を軸に、空き家バンクの活用、移住者受け入れを進めることで、「都市部の一極集中化」「地方の過疎化」それぞれの問題解決に繋がるのではないかと至りました。

東北地方は西日本と比較し、まだまだ空き家問題の対策は遅れており、参入自体も少ない状況です。本事業では当町の空き家対策を主軸とした社会問題解決を行い、地域に住むひとり一人が地域の中で助け合いながら暮らすことができる持続可能な社会の実現を目指します。

リロカリコクリ株式会社 代表取締役 米津岳

